

ユースクリニック×カフェ「ゆーすふる」 —新しい性教育方法の提案—

大正大学心理社会学部人間科学科4年
長田のぞみ

これを見ている皆さんに質問です。

「性交」とは何か知っていますか？

避妊の正しい知識はもっていますか？

卒業論文

若者の性交と避妊に関する研究 —若者への性教育のあり方の検討—

目的

- ①若者の性交と避妊に対する意識と行動の実態を明らかにする
- ②若者向けにどのような性教育を行ったらよいかを考案する

調査方法 Microsoft Formsによるオンラインでの質問紙調査

調査時期 2023年7～9月

調査対象者 18～29歳の男女の若者341名
(高校生・既婚者を除く)

	男性	女性	合計
学生	96	194	290
社会人	21	30	51
合計	117	234	341

主な質問項目

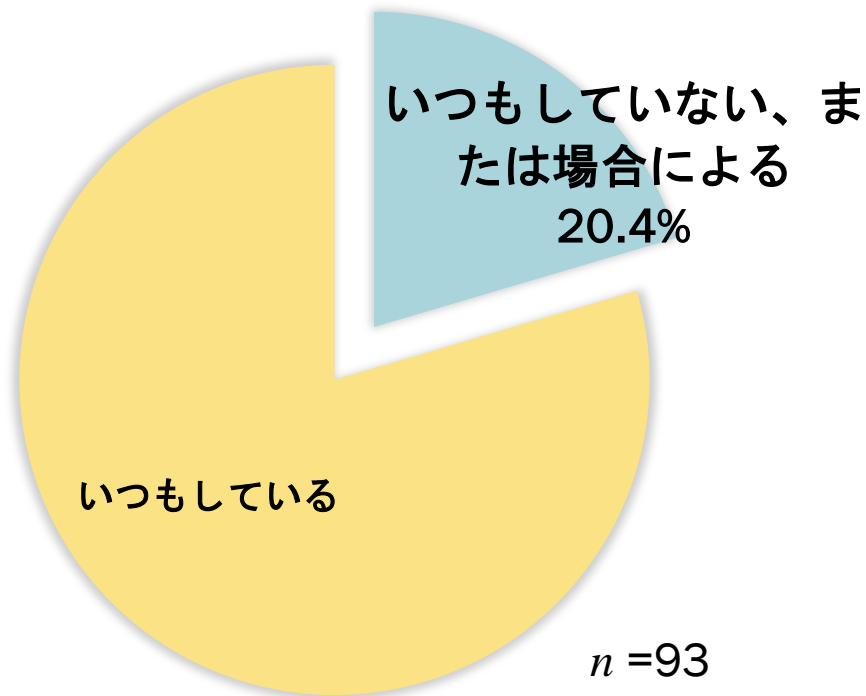
- ①性知識に関して
- ②あなた自身について
- ③性交と避妊の現状と意思
- ④性に関する捉え方

具体的なデータ

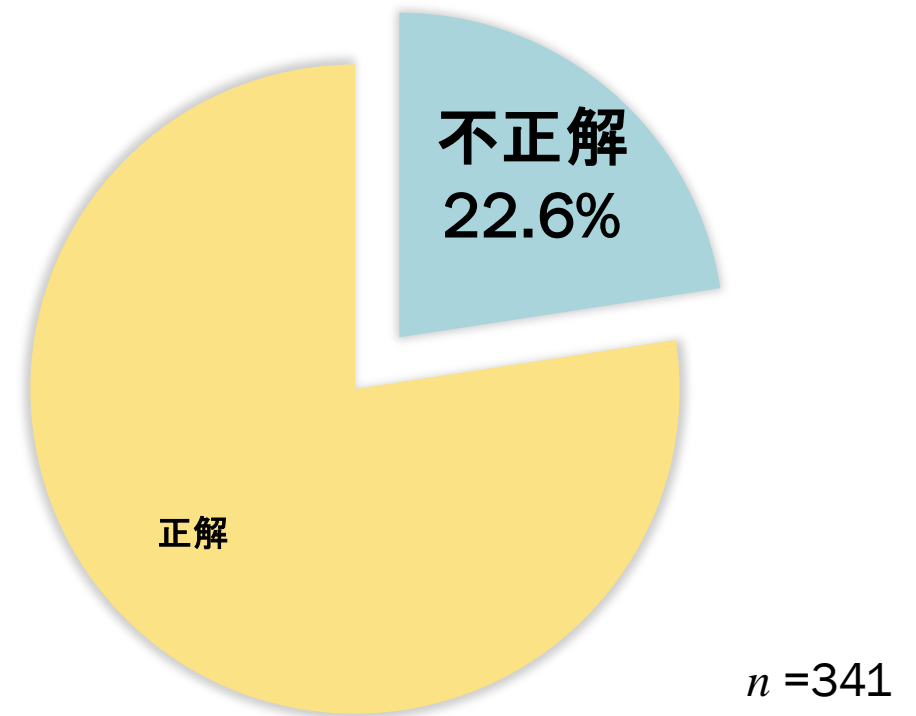
課題①

避妊の頻度が低く、避妊の正しい知識を持っていない若者が約20%存在する

性交をするとき、
避妊をしていますか？
(対象者：現在性交相手がいる人)



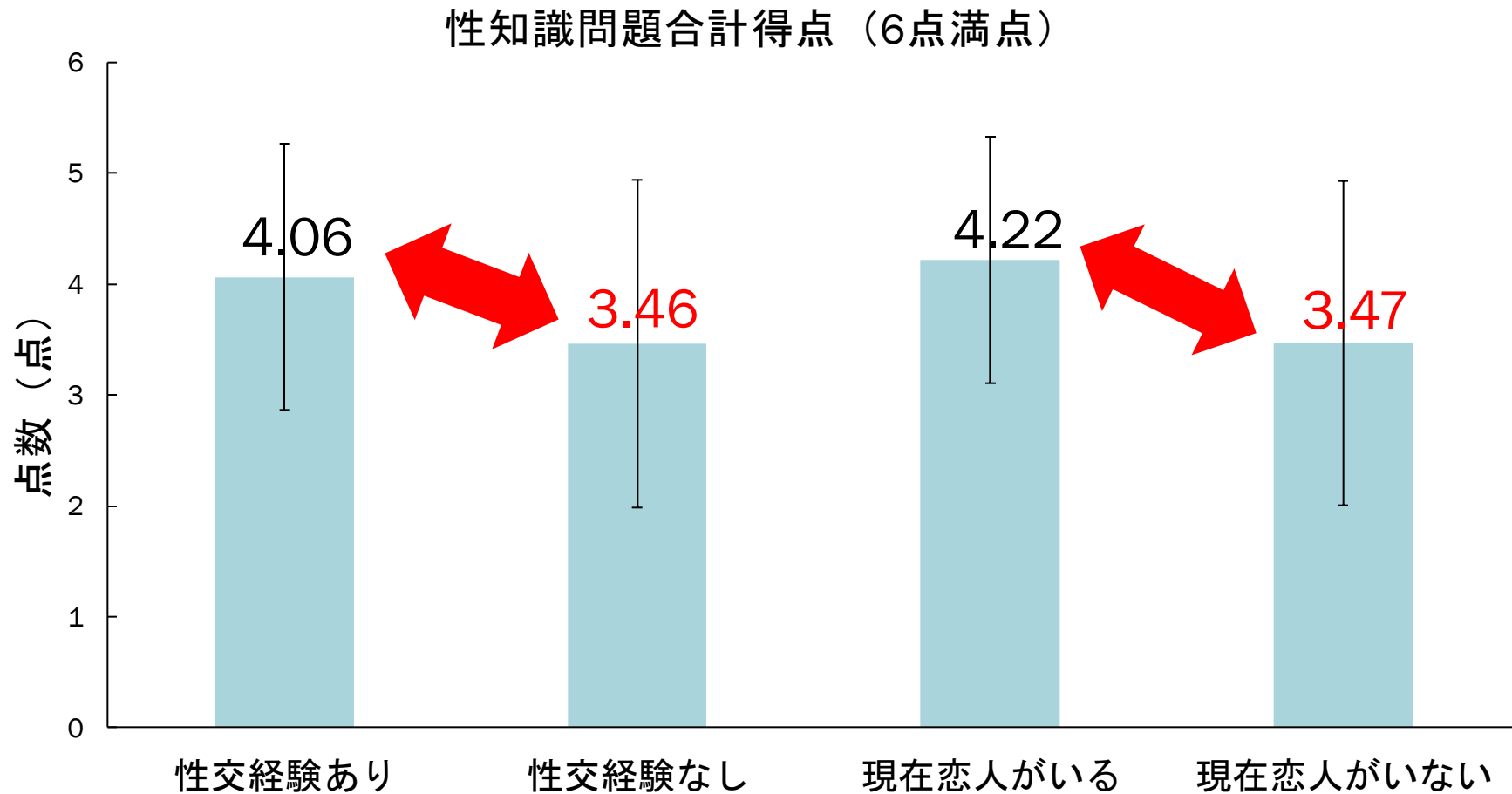
膈外射精は確実な避妊方法である
○か×か



参考：自身の卒業論文

課題②

自分事として考える機会が少ない人は
それ以外の人より性に関する問題の正答率が低い



（エラーバーは標準偏差）

参考：自身の卒業論文

着目した課題

**日本の若者の避妊に関する正しい知識・行動が
不十分である**

原因①

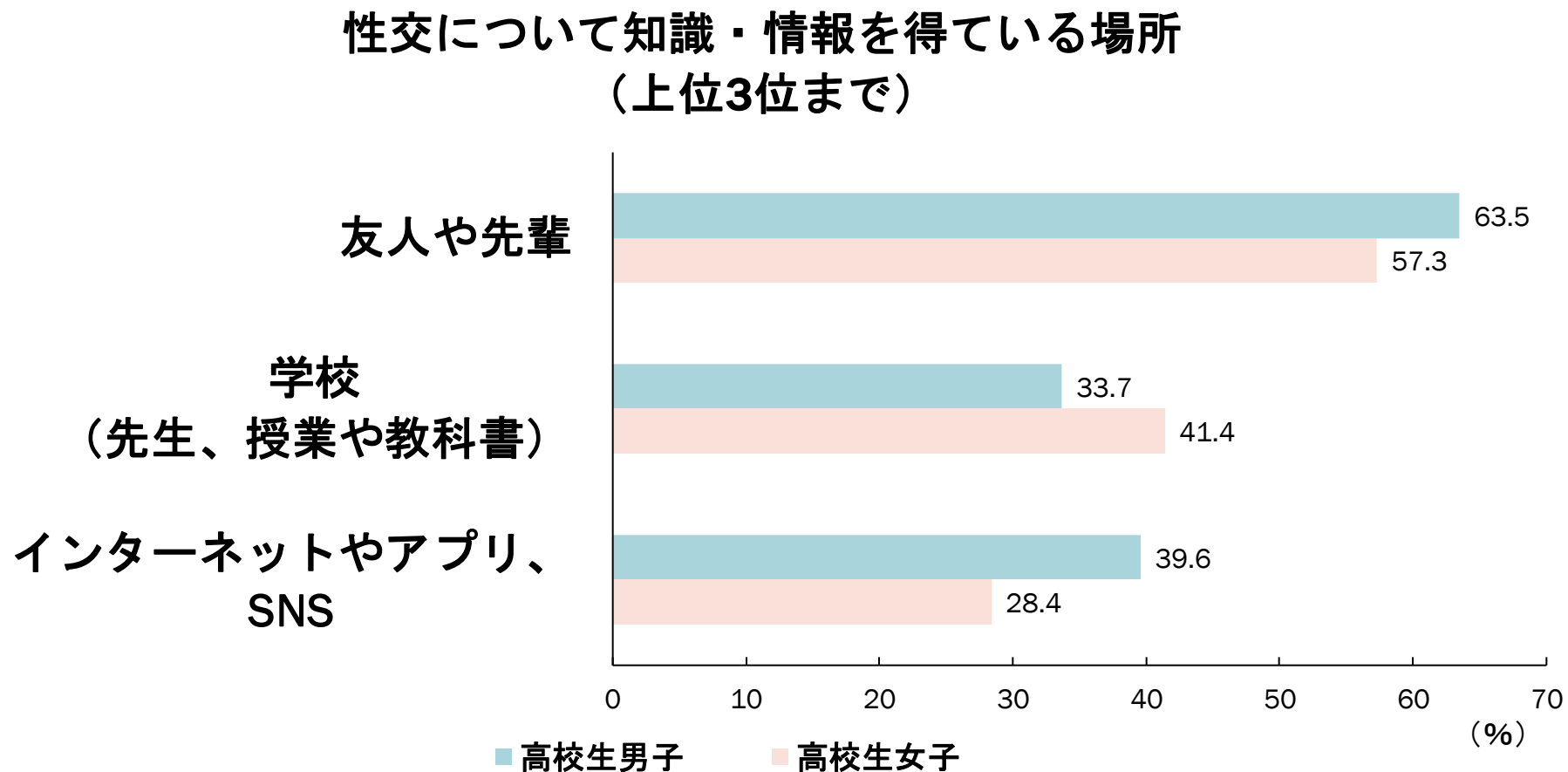
学校教育において踏み込んだ性教育を行いきにくい

性教育「はどめ規定」

- 小学校 「受精に至る過程」は取り扱わない
- 中学校 「受精・妊娠」は取り扱うが、「妊娠の過程」は取り扱わない
- 高校 「生殖に関する機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする」

原因②

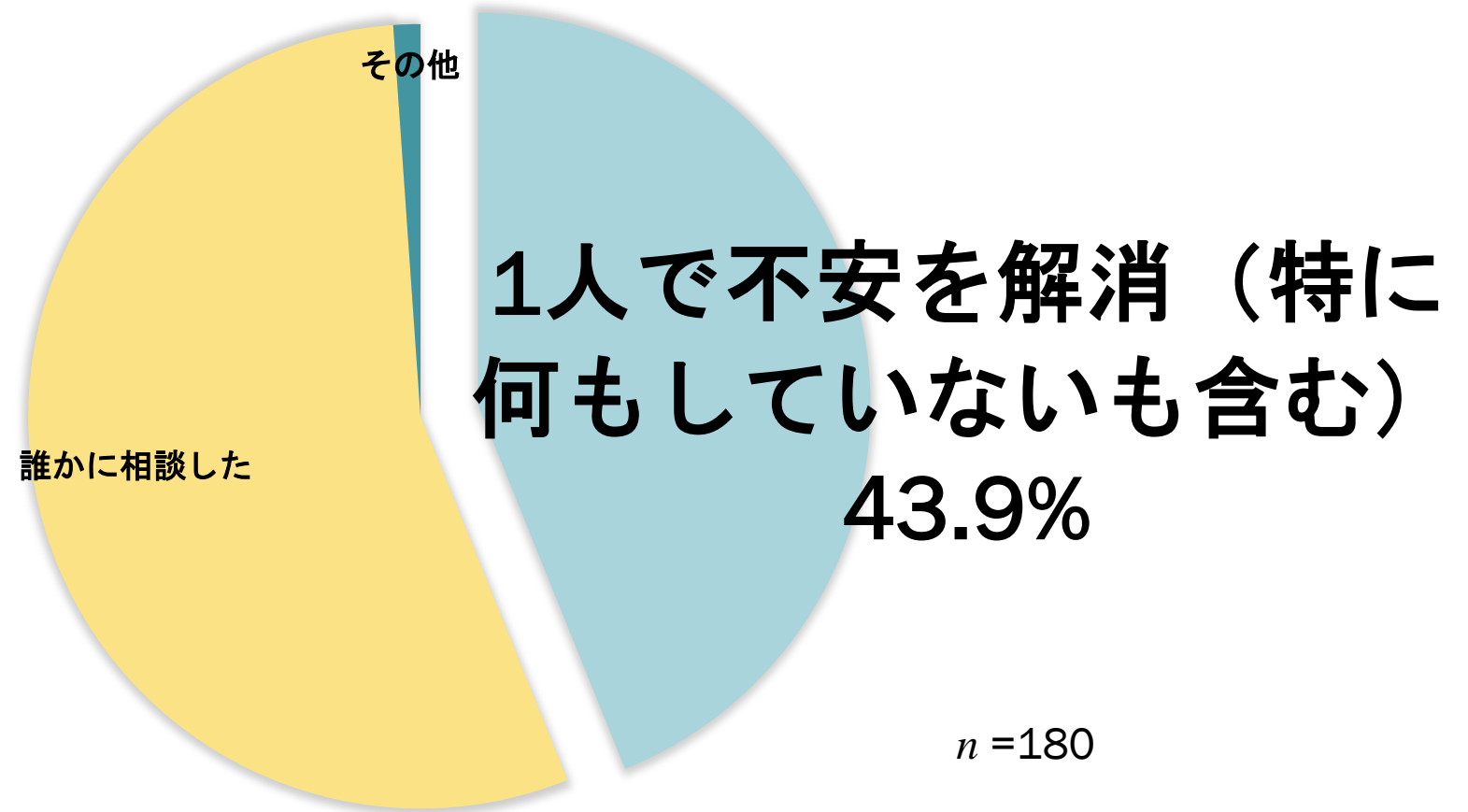
若者が性に関する不安を身近で話せる場所が少ない



原因②

若者が性に関する不安を身近で話せる場所がない

性交や避妊に関して不安に思った時、どのように解消しましたか？

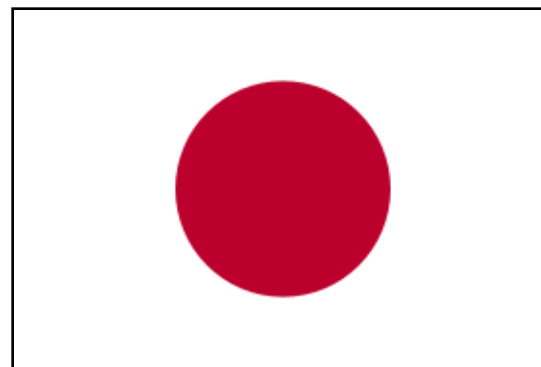


若者のためのユースクリニック



スウェーデン発祥

- 10～20代の若者の悩み相談を専門家が受け付けてくれるクリニック
- 9割の若者が利用したことがある



日本にはわずか

- 多くが婦人科に併設されている
- 病院に行くハードルが高い
- 男性が行きづらい



ユースクリニック

×

カフェ



「ゆーすふる」

ユースクリニック×カフェ 「ゆーすふる」

目的：

性を身近にオープンに考えられる社会を作る

性について話さなくてもいい

性について考える機会の提供



「ゆーすふる」の特徴①

カフェだからこそその足の運びやすさ

- 男女問わず来店しやすい
- 検査・治療を行わない
- カフェ目的ついでに相談ができる

大正大学生の有志が運営する
手話カフェ～しゅわしゅわ～
の様子



「ゆーすふる」の特徴②

性教育を楽しくオープンな雰囲気で行う

- 性について考えるきっかけになるワーク

「Tryシート」

段階をおって知識を深めていける。1つ知識を身につけて帰ってもらえることができる。

- ゆーすのつぶやきコーナー

若者が悩みや話したいことを書き、それに専門家や来店した大人が返信する。カフェ全体のオープンな雰囲気を作る。

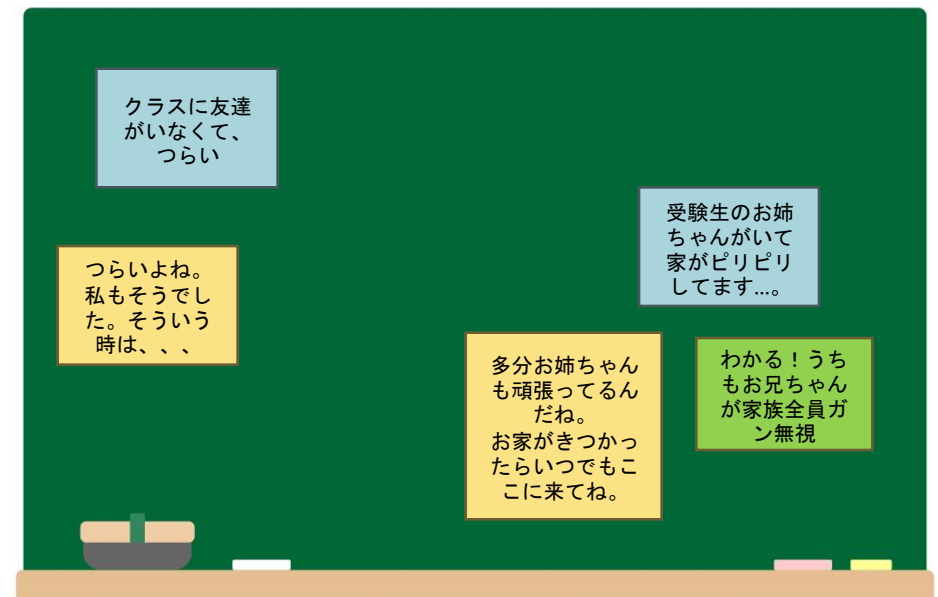
- 避妊具や生理用品、性教育の本の展示

Tryシート

考えてみよう！
お店にある本や、専門家
スタッフとお話してもい
いよ！

友達に「同性の子が好き
なんだ」と言われたら、
なんて返す？

取り組んでくれた方は
〇%割引！



店内の流れ



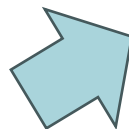
来店

靴を脱いで、お席に着きます



目的は？（複数可）
カフェ利用
クリニック利用（個室・お席）

内容をよかったら教えてください。



クリニック利用

希望すれば、専門家のスタッフと個別ブースで相談することができます



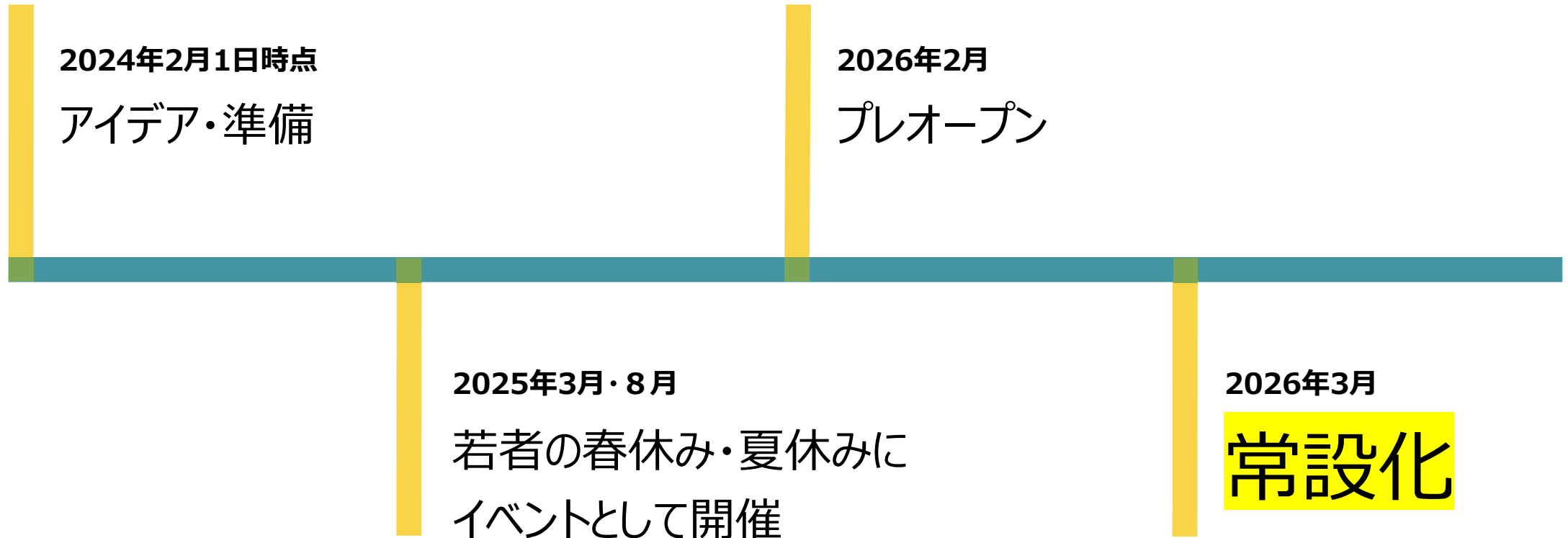
カフェ利用

お食事をしながら、Tryシートに取り組んだり、つぶやきコーナーに投稿したりできます

質問&注文票を記入

席には質問票・注文票が置いてあり、これに答えます

計画目標（予定）



活動場所（予定）

埼玉県さいたま市

理由：

- ①私自身が、高校時代に不安を言える場所が学校周辺には無かったから。
- ②学ぶ意欲の高い若者・教育熱心な保護者が多いから。
- ③県民が主要駅とする駅が多い。
→カフェを利用しやすい環境であるから。

実現のために必要なこと

①このアイデアに協力してくれる人を見つけること

資金・人材集めが必須。特に、**専門家（助産師や心理士、ソーシャルワーカーなど）**をどう協力を得るか。

- ・企業（例：避妊具メーカー・生理用品メーカーなど）との連携
- ・自治体との連携（スウェーデンでは自治体の費用で運営している）
- ・日本性教育協会、“人間と性”教育研究協議会などの団体からの助言、支援を得る
- ・私自身がボランティア・セミナーに積極的に参加し人脈を広げる

②性教育を行うことに関する配慮を徹底的に行うこと

性教育をすること自体に理解が得られにくく、ユースクリニックは主流ではない、かつ実績がない。

特に、「**カフェの開放的な空間で性に関して触れやすい環境を作ること**」が大きな壁。

- ・実際の性教育の現場で、現状を把握
- ・イベントの際に、来店してくれた人の感想・要望を聞き、ニーズにこたえる

SDGsのゴール

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



性教育は人権教育。

**性を身近に考えられる世の中なら、
人々はもっと生きやすくなるはずで**す。

**「ゆーすふる」は
不安や悩みがある人・ない人問わず、
性を考える**きっかけの場**を提供します。**

参考文献

- ・厚生労働省(2023). 令和4年度衛生行政報告例の概況 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei_houkoku/22/> (2023年12月19日閲覧)
- ・文部科学省(2017). 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編 pp.206-228.
- ・NHK(2021). 学校の性教育で“性交”を教えられない「はどめ規定」ってなに? <<https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20210826a.html>> (2024年1月28日閲覧)
- ・日本家族計画協会(2023). 2021年度の人工妊娠中絶届出件数 前年度比1割減 <<https://www.jfpa.or.jp/kazokutokenko/topics/001715.html>> (2023年12月19日閲覧)
- ・日本性教育協会(2019). 「若者の性」白書 ―第8回 青少年の性行動全国調査報告― 小学館

●ユースクリニック参考文献

- ・Chocolat Women's Clinic(公開日不明). ユースクリニック <https://choco-cl.com/youth_clinic> (2024年1月30日閲覧)
- ・藤沢女性クリニックもんま(公開日不明). ユースクリニック <<https://momma.clinic/youthclinic.html>> (2024年1月30日閲覧)
- ・Japan In-depth(2022). 東京版ユースクリニック『わかさぼ』の取り組み <<https://japan-indepth.jp/?p=71799>> (2024年1月30日閲覧)
- ・NPO法人ラサーナ(公開日不明). 若者たちのための街の保健室 ユースクリニック <<https://youthclinic.jp/>> (2024年1月30日閲覧)
- ・smaluna station(公開日不明). ユースクリニック機能 <<https://smaluna-station.com/youthclinic>> (2024年2月1日閲覧)

●SDGs目標参考文献

- 環境省(2023). 持続可能な開発のための2023アジェンダ 日本語仮訳 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/000101402_2.pdf> (2024年1月28日閲覧)

●卒業論文

- 長田 のぞみ(2023). 若者の性交と避妊に関する研究―若者への性教育のあり方の検討― 大正大学心理社会学部



ユースクリニック×カフェ 「ゆーすふる」 —新しい性教育方法の提案—

大正大学心理社会学部人間科学科4年
長田のぞみ